

令和2年度 横浜ブルーカーボン・オフセットを実施しました！

横浜市は、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」において、横浜市独自のカーボン・オフセット制度を平成26年度から運用しています。これまで、地元の企業・団体の「わかめの地産地消」等によるCO₂削減効果を活用し、排出されるCO₂のカーボン・オフセットを行ってきました。

令和2年度は、この横浜ブルーカーボン・オフセット制度に、新たに11者が参加し、クレジット創出は5者合計260.1t-CO₂、オフセットの実施は17者合計341.9t-CO₂となりました。



令和2年度クレジット創出者（5者）

🚢 ブルーリソースによるクレジット

わかめの地産地消によるCO₂削減事業

- 特定非営利活動法人海辺つくり研究会 **0.5t-CO₂**
- 横浜市漁業協同組合 **7.4t-CO₂**
- 株式会社横浜八景島 **0.4t-CO₂**

認証対象：わかめを市外から搬入せずに市内産を生産・消費することによりCO₂削減に貢献する量

海水ヒートポンプの更新によるCO₂削減事業

- 株式会社横浜八景島 **1.0t-CO₂**

認証対象：年間を通じて温度が安定している海水のエネルギーを活用した先進的なヒートポンプの導入によって得られる省エネ効果によるCO₂削減に貢献する量

LNG 燃料タグポートへの更新によるCO₂削減事業

- 株式会社新日本海洋社 **157.6t-CO₂**

認証対象：重油よりも燃焼時のCO₂排出量が少ないLNG（液化天然ガス）を燃料とするタグポートを導入することでCO₂削減に貢献する量

ハイブリッドタグポートへの更新によるCO₂削減事業

- 株式会社新日本海洋社 **90.4t-CO₂**

認証対象：重油を燃料とするタグポートにおいて、効率の悪い低出力域を電動モーターでアシストすることにより、ディーゼル主機関の重油使用量を減少させることで、CO₂削減に貢献する量

🚢 ブルーカーボンによるクレジット

横浜地域における養殖コンブの温室効果ガスの吸収・固定

- 横浜市漁業協同組合 **0.6t-CO₂**

認証対象：養殖コンブの育成による温室効果ガスの吸収・固定（水揚量による算定）

横浜地域における養殖わかめの温室効果ガスの吸収・固定

- 横浜市漁業協同組合 **0.1t-CO₂**

認証対象：養殖わかめの育成による温室効果ガスの吸収・固定（水揚量による算定）

阪南市でのワカメ養殖によるブルーカーボン

- 阪南市 **2.1t-CO₂**

認証対象：養殖わかめの育成による温室効果ガスの吸収・固定（水揚量による算定）



令和2年度クレジット活用者（17者）

●日清オイリオグループ株式会社 横浜磯子事業場 66.0t-CO₂

算定対象：

- ・横浜磯子事業場における、年間のタグボート運行による燃料消費に係る CO₂ 排出量の一部（60.0t-CO₂）
- ・横浜磯子事業場の「ウェルネスギャラリー」等で使用する電力から排出される CO₂ 排出量の一部（6.0t-CO₂）

●エコモーション株式会社 22.0t-CO₂

算定対象：自社が使用した社用車の燃料に係る CO₂ 排出量の一部

●株式会社横浜フリエスポーツクラブ（横浜 FC） 20.6t-CO₂

算定対象：2020年10月18日に開催されたJ1リーグ公式戦の来場者の交通移動に伴い排出される CO₂ の排出量の一部

●石井造園株式会社 10.6t-CO₂

算定対象：年間事業の水道、社有車燃料の使用に伴う CO₂ 排出量の一部

●世界トライアスロンシリーズ横浜大会 組織委員会 1.4t-CO₂

算定対象：2020世界トライアスロンシリーズ横浜大会の記念品配送に伴う CO₂ 排出量

●株式会社大川印刷 1.0 t-CO₂

算定対象：令和2年度の印刷事業全体に係る CO₂ 排出量の一部

●金沢スポーツセンター 0.3t-CO₂

算定対象：横浜元気スポーツ・レクリエーションフェスティバル2020での電力使用に伴う CO₂ 排出量

●三浦野外上映実行委員会 0.1t-CO₂

算定対象：三浦野外上映2020（ドライブインシアター）での自家用車のアイドリングに伴う CO₂ 排出量

<令和2年度新規>

●富士通エンジニアリング テクノロジーズ株式会社 159.8t-CO₂

算定対象：2019年度の事業所(本社)における電力使用量に伴う CO₂ 排出量

●個人 15.4t-CO₂

算定対象：航空機での移動に伴い発生した CO₂ 排出量

●株式会社コンフォートジャパン 14.2t-CO₂

算定対象：オンラインショップの商品配送に係る CO₂ 排出量

●株式会社グローバルテクノス 12.0t-CO₂

算定対象：2019年度と2020年度上半期の廃棄物処理（プラスチック）に係る CO₂ 排出量の一部

●ICCA Asia Pacific Chapter Summit 2020 実行委員会 9.2t-CO₂

算定対象：パシフィック横浜で行われた2nd ICCA Asia Pacific Chapter Summit 2020の電力、冷暖房の使用および参加者の移動に係る CO₂ 排出量

●東亜建設工業株式会社横浜支店 6.7t-CO₂

算定対象：2019年度の横浜支店における電力及び水道の使用量に伴う CO₂ 排出量

●BASE 合同会社 CINEMACARAVAN 1.1t-CO₂

算定対象：CINEMA CARAVAN Drive in theater with KEIKYU（ドライブインシアター）の開催に伴う自家用車のアイドリングに係る CO₂ 排出量

●株式会社天野さく泉建総 1.0t-CO₂

算定対象：小学校のトイレ改修工事における産業廃棄物の運搬および作業員の移動に係る CO₂ 排出量の一部

●ENEOSホールディングス株式会社 0.5t-CO₂

算定対象：ブルーカーボン新規事業調査のための移動に伴う CO₂ 排出量



カーボン・オフセットとは

自らの温室効果ガス排出量を把握し、できるだけ排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても減らせない排出量（クレジット）を他の場所での排出削減・吸収量（クレジット）で相殺（オフセット）することです。



「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」では、ブルーカーボンまたはブルーリソースによる温室効果ガスの吸収量の増大及び排出量の削減を取引可能なクレジットとして認証しオフセットを促進するとともに、その販売代金の活用によって海の環境活動の更なる推進を目指しています。

【横浜ブルーカーボン】

海洋に生息する生き物によって吸収・固定される炭素を「ブルーカーボン」といいます。『横浜ブルーカーボン』では、「ブルーカーボン」に加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース」と名付け、これらを一体として温暖化対策に取り組み、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。

